



AMUSE

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 定時株主総会開催予定日 2020年6月29日 配当支払開始予定日 2020年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	58,806	6.6	5,155	15.1	5,160	11.9	3,010	△32.2
2019年3月期	55,166	16.7	4,479	34.0	4,611	42.4	4,442	135.4

(注) 包括利益 2020年3月期 3,649百万円 (△17.3%) 2019年3月期 4,410百万円 (116.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	173.69	—	10.0	10.6	8.8
2019年3月期	256.95	—	16.5	10.9	8.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △34百万円 2019年3月期 44百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	52,074	34,057	60.6	1,817.62
2019年3月期	45,599	30,445	63.3	1,668.99

(参考) 自己資本 2020年3月期 31,545百万円 2019年3月期 28,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,214	2,112	△908	29,351
2019年3月期	5,505	664	△561	24,955

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	702	15.6	2.6
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	620	20.2	2.0
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2019年3月期の第2四半期末及び期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 7円50銭

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 (社名) 株式会社ライブ・ビューイング・ジャパン
除外 1社 (社名) A-Live Entertainment Pte. Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	18,623,520株	2019年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,268,337株	2019年3月期	1,321,519株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	17,335,171株	2019年3月期	17,290,965株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2020年3月期362,720株、2019年3月期256,090株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期316,239株、2019年3月期267,278株）。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。
2. 当社は、2020年3月期決算説明会を中止とさせて頂いております。機関投資家・アナリスト向け決算説明資料は、次週以降に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	55,166	58,806	3,639	6.6
営業利益	4,479	5,155	675	15.1
経常利益	4,611	5,160	549	11.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,442	3,010	△1,431	△32.2

〔経済状況〕

当連結会計年度のわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調が継続していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化し、一転厳しい状況となりました。感染症が経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があるため、より一層の金融資本市場の変動などによる影響を注視する必要があります。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入588億6百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益51億5千5百万円（前年同期比15.1%増）、経常利益51億6千万円（前年同期比11.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益30億1千万円（前年同期比32.2%減）となりました。大型コンサートツアーや関連グッズ収入の増加、コマース収入の増加により増収、営業利益、経常利益は増益となりましたが、第4四半期途中において新型コロナウイルス感染症拡大に起因する政府及び自治体からの自粛要請等によるライブイベントや舞台公演等の中止及び延期等の対応を実施、それに伴いグッズ等の販売も減少したことにより、営業利益、経常利益は急減いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては投資有価証券の評価損、公演等の中止による損失などにより減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が増加
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ コマース収入が増加
- ・ 映像製作収入（イベント興行の中継および上映）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益>

・ 増収に伴う増益に加え、販売費及び一般管理費の減少などにより営業利益、経常利益は増益となりましたが、特別損失計上による減益要因により、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	48,838	51,026	2,187	4.5
メディアビジュアル事業	1,108	2,531	1,422	128.3
コンテンツ事業	2,992	2,960	△32	△1.1
プレイスマネジメント事業	2,226	2,288	62	2.8
合計	55,166	58,806	3,639	6.6

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	4,440	5,718	1,277	28.8
メディアビジュアル事業	△23	△191	△168	—
コンテンツ事業	1,086	1,094	7	0.7
プレイスマネージメント事業	△185	△301	△115	—
調整額	△837	△1,163	△326	—
合計	4,479	5,155	675	15.1

〔アーティストマネージメント事業〕

営業収入510億2千6百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益57億1千8百万円(前年同期比28.8%増)となり、増収増益となりました。

〔主な事業〕

- ・ イベント収入: <コンサート>
 サザンオールスターズ、SEKAI NO OWARI、flumpool、
 ONE OK ROCK、高橋優、藤原さくら、Perfumeのコンサートツアー
 福山雅治、ポルノグラフィティ、BABYMETALのコンサート
 Amuse Fes in MAKUHARI 2019
 <舞台・公演>
 ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版
 熱海五郎一座「翔べないスペースマンと危険なシナリオ」
 茅ヶ崎サザン芸術花火2019
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、BABYMETAL(アルバムCD、ライブBD)
- ・ 印税収入(新譜): Perfume(ライブBD)、ONE OK ROCK(アルバムCD)
- ・ 出演収入・CM収入: 大泉洋、神木隆之介、佐藤健、三浦春馬、仲里依紗、吉高由里子、ホラン千秋など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサート公演数、規模など)が増加
 (前年同期は福山雅治、星野源、ONE OK ROCK、SEKAI NO OWARI、ポルノグラフィティ、Perfume、BABYMETAL、高橋優のコンサートツアーなど)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加
 (前年同期よりイベント収入増加による関連グッズ増加、音楽パッケージ大型作品増加)

上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

〔メディアビジュアル事業〕

営業収入25億3千1百万円(前年同期比128.3%増)、セグメント損失1億9千1百万円(前年同期は2千3百万円のセグメント損失)となり、増収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ 映像作品販売収入: 映画「ギャングス」、神木隆之介主演映画「フォルトゥナの瞳」、
 吉高由里子主演ドラマ「わたし、定時で帰ります。」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入: 神木隆之介主演映画「フォルトゥナの瞳」劇場配給分配収入、
 佐藤健が主演声優を務めた3DCGアニメーション映画「ドラゴンクエスト ユア・ストーリー」
 劇場配給分配収入、イベント興行の中継および上映収入
- ・ 番組制作収入: 単発番組の制作受託など

<営業収入>

・ 株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンの株式を追加取得し、第3四半期連結会計期間末において同社を連結の範囲に含め、イベント興行の中継および上映収入が増加したことにより増収となりました。

<セグメント利益>

・ 映像作品販売収入及び劇場配給分配収入の減少により減益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入29億6千万円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益10億9千4百万円(前年同期比0.7%増)となり、減収増益となりました。

[主な事業]

・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK、BABYMETALなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

・ 若干の減収となりましたが、前期とほぼ同水準で推移いたしました。

<セグメント利益>

・ 若干の増益となりましたが、前期とほぼ同水準で推移いたしました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入22億8千8百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント損失3億1百万円(前年同期は1億8千5百万円のセグメント損失)となりました。

[主な事業]

・ 東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入
・ ベルギービール等の飲食店収入
・ LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)の施設管理・運営

<営業収入>

・ 2019年10月より開設したLINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)の利用料収入により増収となりました。

<セグメント利益>

・ 東京ワンピースタワーの運営費が増加したこととLINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)の初期費用により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 2019年3月期	当連結会計年度 2020年3月期	増減額
総資産 (百万円)	45,599	52,074	6,475
純資産 (百万円)	30,445	34,057	3,611
自己資本比率 (%)	63.3	60.6	△2.7
1株当たり純資産 (円)	1,668.99	1,817.62	148.63

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は520億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億7千5百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「現金及び預金」及び「受取手形及び営業未収入金」の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は180億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億6千3百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は340億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億1千1百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は60.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2019年3月期	当連結会計年度 2020年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,505	3,214	△2,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	664	2,112	1,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△561	△908	△346
現金及び現金同等物の期末残高	24,955	29,351	4,395

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ43億9千5百万円増加し、当連結会計年度末には293億5千1百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は32億1千4百万円（前年同期は55億5百万円の獲得）となりました。

これは、主に法人税等の支払による資金減少要因はありましたが、営業債務の増加及び税金等調整前当期純利益計上に伴う資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は21億1千2百万円（前年同期は6億6千4百万円の獲得）となりました。

これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による資金増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9億8百万円（前年同期は5億6千1百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルスの影響により、先行き不透明感が増しております。

アーティストによるコンサート・演劇などは新型コロナウイルスの日本国内での感染拡大、そして全国に緊急事態宣言が発令されたことを受け、実施が困難な状況が続いております。

それに伴いコンサート会場などで販売するアーティストグッズ等の販売収入にも大きく影響が出ています。

この感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、当社グループの次期の業績見通しは未定とさせて頂き、予想の開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,473	29,867
受取手形及び営業未収入金	6,625	8,440
商品及び製品	1,667	1,801
仕掛品	1,865	1,890
原材料及び貯蔵品	131	182
その他	2,084	2,180
貸倒引当金	△443	△528
流動資産合計	37,404	43,834
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,118	1,530
土地	856	902
リース資産(純額)	29	43
その他(純額)	580	303
有形固定資産合計	2,585	2,778
無形固定資産		
のれん	163	132
その他	344	436
無形固定資産合計	507	569
投資その他の資産		
投資有価証券	2,928	2,760
繰延税金資産	981	749
その他	1,395	1,398
貸倒引当金	△203	△16
投資その他の資産合計	5,102	4,892
固定資産合計	8,194	8,240
資産合計	45,599	52,074

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,117	12,771
リース債務	16	19
未払法人税等	1,383	323
役員賞与引当金	34	38
従業員株式給付引当金	2	1
返品調整引当金	14	1
ポイント引当金	24	29
その他	2,173	3,421
流動負債合計	13,766	16,606
固定負債		
リース債務	23	32
役員株式給付引当金	61	91
退職給付に係る負債	1,264	1,257
その他	37	29
固定負債合計	1,386	1,411
負債合計	15,153	18,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,072	2,249
利益剰余金	26,500	28,850
自己株式	△1,240	△1,401
株主資本合計	28,919	31,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	300
為替換算調整勘定	△77	△89
退職給付に係る調整累計額	—	47
その他の包括利益累計額合計	△42	258
非支配株主持分	1,568	2,512
純資産合計	30,445	34,057
負債純資産合計	45,599	52,074

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収入	55,166	58,806
営業原価	44,271	47,849
営業総利益	10,894	10,956
返品調整引当金繰入額	12	—
返品調整引当金戻入額	—	13
差引営業総利益	10,881	10,969
販売費及び一般管理費	6,402	5,814
営業利益	4,479	5,155
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	25	56
持分法による投資利益	44	—
為替差益	23	—
受取手数料	8	9
その他	43	32
営業外収益合計	147	102
営業外費用		
持分法による投資損失	—	34
為替差損	—	46
その他	16	16
営業外費用合計	16	97
経常利益	4,611	5,160
特別利益		
固定資産売却益	1,728	—
投資有価証券売却益	5	87
関係会社株式売却益	—	51
段階取得に係る差益	—	62
資産除去債務戻入益	—	100
特別利益合計	1,734	300
特別損失		
投資有価証券評価損	1	298
減損損失	8	134
公演中止損失	—	290
特別損失合計	10	723
税金等調整前当期純利益	6,334	4,737
法人税、住民税及び事業税	2,039	1,237
法人税等調整額	△152	151
法人税等合計	1,886	1,389
当期純利益	4,447	3,348
非支配株主に帰属する当期純利益	5	337
親会社株主に帰属する当期純利益	4,442	3,010

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,447	3,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	265
為替換算調整勘定	△30	△11
退職給付に係る調整額	—	47
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△37	301
包括利益	4,410	3,649
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,406	3,312
非支配株主に係る包括利益	4	336

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,096	22,628	△1,288	25,023
当期変動額					
剰余金の配当			△570		△570
親会社株主に帰属する当期純利益			4,442		4,442
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		0		49	49
連結子会社株式の取得による持分の増減		△24			△24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△24	3,872	48	3,896
当期末残高	1,587	2,072	26,500	△1,240	28,919

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41	△48	△6	1,586	26,604
当期変動額					
剰余金の配当					△570
親会社株主に帰属する当期純利益					4,442
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					49
連結子会社株式の取得による持分の増減					△24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7	△29	△36	△18	△54
当期変動額合計	△7	△29	△36	△18	3,841
当期末残高	34	△77	△42	1,568	30,445

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,072	26,500	△1,240	28,919
当期変動額					
剰余金の配当			△661		△661
親会社株主に帰属する当期純利益			3,010		3,010
自己株式の取得				△376	△376
自己株式の処分		265		215	481
連結子会社株式の取得による持分の増減		△87			△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	177	2,349	△160	2,366
当期末残高	1,587	2,249	28,850	△1,401	31,286

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	34	△77	—	△42	1,568	30,445
当期変動額						
剰余金の配当						△661
親会社株主に帰属する当期純利益						3,010
自己株式の取得						△376
自己株式の処分						481
連結子会社株式の取得による持分の増減						△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	265	△11	47	301	943	1,244
当期変動額合計	265	△11	47	301	943	3,611
当期末残高	300	△89	47	258	2,512	34,057

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,334	4,737
減価償却費	306	317
のれん償却額	81	68
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△577	△114
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11	3
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	24	29
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△9	△1
返品調整引当金の増減額(△は減少)	12	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	242	34
ポイント引当金の増減額(△は減少)	5	5
受取利息及び受取配当金	△27	△59
持分法による投資損益(△は益)	△44	34
事業組合投資損益(△は益)	△10	3
有形固定資産除却損	11	2
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,728	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△87
投資有価証券評価損益(△は益)	1	298
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△51
減損損失	8	134
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△62
資産除去債務戻入益	—	△100
営業債権の増減額(△は増加)	△246	△258
たな卸資産の増減額(△は増加)	305	△93
営業債務の増減額(△は減少)	1,835	390
未払消費税等の増減額(△は減少)	348	△243
その他の流動資産の増減額(△は増加)	91	374
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△28	△58
その他	△54	106
小計	6,889	5,398
利息及び配当金の受取額	27	88
利息の支払額	△0	△0
法人税等の還付額	164	22
法人税等の支払額	△1,576	△2,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,505	3,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△500
定期預金の払戻による収入	1,027	500
有形固定資産の取得による支出	△1,041	△408
有形固定資産の売却による収入	2,531	0
無形固定資産の取得による支出	△198	△150
投資有価証券の取得による支出	△200	△76
投資有価証券の売却による収入	39	142
関係会社株式の取得による支出	△522	△377
関係会社株式の売却による収入	3	37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	2,870
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	4
貸付けによる支出	△16	△54
貸付金の回収による収入	23	39
関係会社出資金の払込による支出	—	△100
その他	19	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	664	2,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△200
自己株式の取得による支出	△1	△368
自己株式の売却による収入	50	375
配当金の支払額	△570	△661
非支配株主への配当金の支払額	△22	△42
その他	△16	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△561	△908
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,608	4,395
現金及び現金同等物の期首残高	19,346	24,955
現金及び現金同等物の期末残高	24,955	29,351

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」、「プレイスマネージメント事業」として分類しております。

「アーティストマネージメント事業」は、イベント収入(コンサート・イベント・舞台等の収入)、ファンクラブ・商品売上収入(アーティストグッズ等の企画・制作・販売収入、音楽作品の発売による収入、ファンクラブ会費収入)、出演収入・CM収入、印税収入(新譜:初回収益計上日より1年以内分)等であり、「メディアビジュアル事業」は、映像作品販売収入、映像製作収入、番組制作収入等であり、「コンテンツ事業」は、音楽・映像収入(旧譜:音楽は初回収益計上日より1年超経過分、映像は同2年超経過分)等であり、「プレイスマネージメント事業」は、入場料収入(テーマパークの運営収入)、その他の収入(各種グッズの企画・制作・販売収入、飲食店収入等)等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	48,838	1,108	2,992	2,226	55,166	—	55,166
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	78	302	346	54	781	△781	—
計	48,917	1,411	3,338	2,280	55,947	△781	55,166
セグメント利益 又は損失(△)	4,440	△23	1,086	△185	5,317	△837	4,479
その他の項目 減価償却費	148	0	17	8	175	130	306

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	51,026	2,531	2,960	2,288	58,806	—	58,806
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	100	284	353	0	739	△739	—
計	51,126	2,816	3,314	2,289	59,545	△739	58,806
セグメント利益 又は損失(△)	5,718	△191	1,094	△301	6,319	△1,163	5,155
その他の項目							
減価償却費	163	3	17	8	193	123	317

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	672	4
全社費用※	△1,510	△1,168
合計	△837	△1,163

※主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

(2) その他の項目 減価償却費

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	130	123
合計	130	123

※主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	1,668.99	1,817.62
1株当たり当期純利益(円)	256.95	173.69

- (注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度256,090株、当連結会計年度362,720株)。
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度267,278株、当連結会計年度316,239株)。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,442	3,010
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(百万円)	4,442	3,010
期中平均株式数(株)	17,290,965	17,335,171

(重要な後発事象)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年2月26日以降、当社グループでは主力のイベント事業において、ライブイベントや舞台公演等の中止及び延期等の対応を実施しており、これらに伴いグッズ等の販売も減少するなどの影響が生じております。

これらの対応は4月以降も継続しており翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼすことが想定されますが、現時点ではコロナウイルス感染症が収束する時期を見通すことは難しく、影響額を合理的に見積もることは困難であります。

4. その他

(1) 減損損失

前連結会計年度(2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

① 減損損失を認識した資産

(単位:百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
事業用資産	有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	Amuse Group USA, Inc.	米国 (カリフォルニア州)	8

当連結会計年度(2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

① 減損損失を認識した資産

(単位:百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
その他	のれん	株式会社FRIENDS	東京都渋谷区	68
その他	のれん	株式会社COMITAS	東京都渋谷区	33
厚生施設	建物 有形固定資産(その他)	株式会社アミューズ	東京都世田谷区	26
事業用資産	有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	AMUSE ENTERTAINMENT INC.	韓国 (ソウル)	2
事業用資産	建物 有形固定資産(その他)	AmuseLantis Europe S.A.S.	フランス (パリ)	3

(2) 役員の異動

役員の異動につきましては、本日付(2020年5月13日)で公表いたしました「取締役の異動に関するお知らせ」をご参照ください。